


審査結果報告書

2020 年 8 月 25 日

主 査 氏 名 小泉和太郎 

副 査 氏 名 猶木克彦 

副 査 氏 名 三階貴史 

副 査 氏 名 長谷川智之 

1. 申請者氏名 : DM15024 早川 豊和

2. 論文テーマ :

Dosimetric factors associated with long-term patient-reported outcomes after definitive radiotherapy of patients with head and neck cancer
(頭頸部がん患者の根治的放射線治療後の生活の質と線量因子の関係)

3. 論文審査結果 :

頭頸部がん患者の強度変調放射線治療(IMRT)における Dose Volume Histogram(DVH)と治療後の患者の生活の質(QOL)の関係について IMRT を施行した患者のうち、EORTC QLQ-C30 および QLQ-H&N35 のアンケート調査にて「重度低下群」と「軽度低下群」に分け、2 群間で患者背景因子および DVH に有意差があるかを検討した「trouble with social eating」および「coughing」に関しては、上咽頭収縮筋および耳下腺の平均線量に重度低下群と軽度低下群とで有意差がみられた。「nausea and vomiting」に関しては、2 群間で中咽頭収縮筋の平均線量に有意差がみられた。これらの結果より治療後 6 ヶ月以降で、上咽頭収縮筋と耳下腺の線量が social eating と咳嗽に、中咽頭収縮筋の線量が悪心・嘔吐の悪化と関連していた。このことは今後の IMRT 治療において患者の QOL を下げない治療法の開発に大変貴重な研究であると考えられた。医学博士の学位に十分に値する内容であるとの審査結果を得た。